

## 「平成26年度中山間地の防災を考える シンポジウム」が開催される

平成26年10月2日（水），新潟県長岡市「アオーレ長岡」市民交流ホールAにおいて，（一社）全国治水砂防協会並びに全国治水砂防協会新潟県支部，全国治水砂防協会長野県支部，全国治水砂防協会富山県支部，全国治水砂防協会石川県支部，全国治水砂防協会福井県支部の主催のもと，「平成26年度中山間地の防災を考えるシンポジウム」を以下のとおり開催いたしました。

今回はテーマを「明日につなぐ，結ぶ，中山間地」とし，10年が経過した新潟県中越地震による土砂災害からの復旧・復興と地域振興を振り返り，中山間地の人口減少社会における国土保全の在り方と地域づくりを，上下流を結び，明日につなぐ活動に取り組んでいる地域の方々と考えるシンポジウムとしました。

最初に一般社団法人減災・復興支援機構，木村拓郎理事長が基調講演を行い，過去に全国で発生した大規模な土砂災害地における復興の状況や災害を継承する災害遺構の重要性などについて語られました。次に，澤田雅浩長岡造形大学地域協創センター副センター長，建築・環境デザイン学

科准教授をコーディネーターとして，地元関係者，行政関係者ら計5名のパネリストによるパネルディスカッションを行いました。

パネルディスカッションでは，山古志地域で復興に取り組む状況とともに，19年前に大災害が発生した長野県小谷村で砂防堰堤を見学するツアーを企画した話や，明治30年ごろに大災害が発生した福井県の日野川流域で石積みの砂防施設を守り，多くの方にその美しさを伝える活動をしている話などが披露され，幅広い議論が行われました。

当日は，北信越地区の一般住民，防災担当者等



森民夫長岡市長による挨拶 ※代理：金子淳一長岡市政策監兼原子力・防災統括監



岡本正男理事長による開会挨拶



木村拓郎氏による基調講演



パネルディスカッションの様子



小林則幸出雲崎町長による閉会挨拶



会場風景

205名の方々に参加していただき、熱気あふれる有意義なシンポジウムとなり、盛況のうちに終了しました。

長岡市及び新潟県土木部砂防課をはじめ、ご多忙の中、本シンポジウムの企画・準備・運営にご協力いただいた皆様方に厚く御礼申し上げます。

【プログラム】(敬称略)

1. 開会挨拶

- ・主催者挨拶 岡本正男 一般社団法人全国治水砂防協会理事長
- ・開催地挨拶 森 民夫 新潟県長岡市長  
※代理 金子淳一 長岡市政策監兼原子力・防災統括監

2. 基調講演「砂防と地域復興」

木村拓郎 (一社) 減災・復興支援機構理事長

3. パネルディスカッション

【テーマ】「明日につなぐ、結ぶ、中山間地」

【コーディネーター】

- ・澤田雅浩 長岡造形大学地域協創センター副センター長、建築・環境デザイン学科准教授

【パネリスト】

- ・関 正史 山古志観光協会会長(新潟県長岡市)

- ・川上沙織 やまこし復興交流館おらたる担当スタッフ (新潟県長岡市), (NPO) 中越防災フロンティア

- ・栗田 寧 ドボクアート砂防めぐりコーディネーター (長野県姫川流域), 小谷村特産推進室主任

- ・田中謙次 アカタン砂防エコミュージアムコーディネーター (福井県日野川流域), 日野川流域交流会幹事

- ・越智英人 国土交通省北陸地方整備局湯沢砂防事務所長

4. 閉会挨拶

小林則幸 新潟県治水砂防協会会長・新潟県出雲崎町長

- ・主催：(一社) 全国治水砂防協会, 全国治水砂防協会新潟県支部, 全国治水砂防協会長野県支部, 全国治水砂防協会富山県支部, 全国治水砂防協会石川県支部, 全国治水砂防協会福井県支部

・共催：長岡市

・後援：新潟県, 長野県, 富山県, 石川県, 福井県

・企画：NPO 法人土砂災害防止広報センター